平成３０年度　学校運営連絡協議会実施報告書

１　組織

（１）名　　　　称：　東京都立青山高等学校　学校運営連絡協議会

（２）事務局構成：　副校長、経営企画室長、広報部主任

（３）内部委員構成：　校長、副校長、経営企画室長、教務部主任、生徒部主任、進路部主任、
　　　　　　　　　　広報部主任　各学年主任　計１１名

（４）協議委員構成：　外部有識者１名、教育関係者２名、近隣中学校長、地域住民代表、同窓会代表、
　　　　　　　　　　後援会代表、保護者代表　　計８名

２　平成３０年度学校運営連絡協議会の概要

（１）学校運営連絡協議会（第１～３回）

第１回 平成３０年　６月１６日（土） 内部委員７名、協議委員８名	・授業公開、委員紹介、学校経営報告及び学校経営計画の説明、本校の教育活動の説明 ・進学指導重点校としての進路指導に関する説明 ・学校運営連絡協議会実施報告及び学校運営連絡協議会の趣旨説明 ・評価委員選出、質疑応答及び意見交換
第２回 平成３０年１１月２４日（土） 内部委員６名、協議委員６名、	・授業公開、教育活動の概況報告 ・エビデンスに基づく教育活動（Ｗｅｂアンケート） ・教養を身につける教育活動 ・ＴＯＫＹＯ2020 大会にむけた教育活動について ・各学年の概況報告 ・質疑応答及び意見交換
第３回 平成３１年　２月　２日（土） 内部委員５名、協議委員６名、 各学年主任３名	・授業公開、教育活動の概況報告 ・入学選抜の応募状況報告 ・進路状況の報告 ・学校評価及び授業評価アンケート集計結果報告 ・集計結果を踏まえた質疑応答、意見交換

（２）評価委員会

第１回 平成３０年１１月２４日（土） 内部委員２名、協議委員２名	・学校評価の基本方針の確認、学校評価の観点・項目、内容の検討
第２回 平成３１年　２月　２日（土） 内部委員２名、協議委員２名	・学校評価及び授業評価アンケート集計結果の分析・考察、意見交換

３　学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（１）評価の項目

　ア　生　徒：　本人の学校生活と家庭生活、学校の教育活動

　イ　保護者：　子供の学校生活と家庭生活、学校の教育活動

　ウ　教職員：　生徒の学校生活と家庭生活、学校の教育活動、ライフ・ワーク・バランスの推進

（２）アンケート調査の実施時期、対象、規模

　・実施時期：　平成３０年１２月上旬から平成３１年１月上旬までの間

　・対象・規模：　生徒８８１人、保護者８８１人、教職員６０人、外部委員８名

　・回　答　率：　生徒９６％（８４２人)、保護者４６％（４０３人)、
　　　　　　　　教職員９３（５６人）内部委員８８％（７名）

（３）評価結果の概要

調査項目の概ねすべてにおいて、肯定的評価が８割前後を占めるなど、良好な評価を得ている。特に、外苑祭等の学校行事や部活動、授業・講習の内容や進路指導・進路ガイダンスは、肯定的評価が９割以上であった。教職員、学校運営連絡協議会による学校評価も概ね良好な評価を得た。また、生徒による学校評価との差異も、昨年度までと異なり、小さくなった。

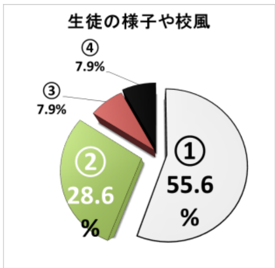
教員に対するライフ・ワーク・バランスの推進については課題が残るものの、校長から発出される毎月の勤務時間の集計を元に各人が業務の効率化などを図る動きが見え始めている。

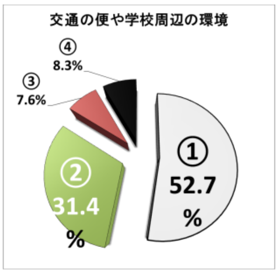
一方、自由記述には、授業や講習の内容に対する不満、土曜授業や講習デーに対する疑問、進路指導に関する要望、教員の接し方への要望、行事の在り方への提案、施設・設備・美化活動の改善・充実の要求など、様々な意見もあった。

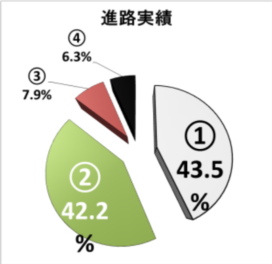
（４）評価結果の分析・考察

ア．１年生が青山高校を志望する際に考慮した事柄

上位３項目は、昨年度と同様でした。





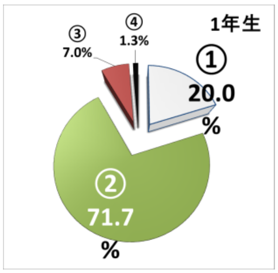


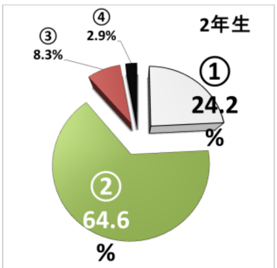
①	大いに考慮した
②	ある程度考慮した
③	あまり考慮しなかった
④	全く考慮しなかった

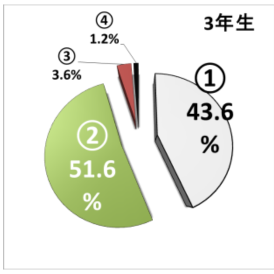
イ．学年が進むにつれて度合いが高まるもの

ア　授業内容の満足度

昨年度に比べ、２年生の「大いに満足」が 5.8 ポイント減少し、満足していない割合が 8.2 ポイント増え、全体の１割を越えました。３年生は「大いに満足」が昨年度より 5.6 ポイント増えました。１年生は、昨年度とほぼ同様の結果でした。

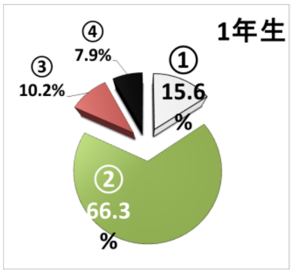


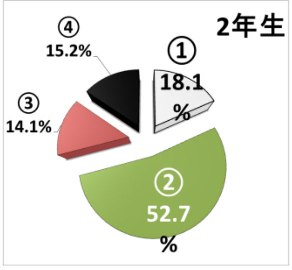


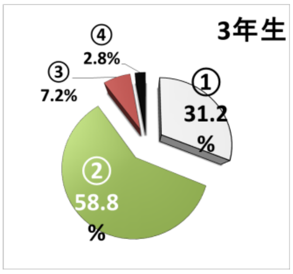


①	大いに満足している
②	ある程度満足している
③	あまり満足していない
④	全く満足していない

イ　学年進行に合わせて「大いに役立つ」が増える傾向は昨年度と同様です。３年生は、否定的回答が３ポイント減少し、１年生は否定的回答が 9.9 ポイントと大きく減少しました。一方、２年生は否定的回答が 10.3 と大きく増加し、全体の約３割を占めています。

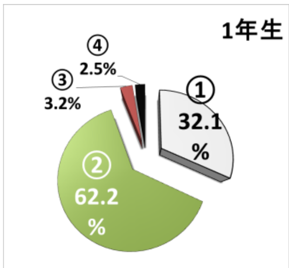


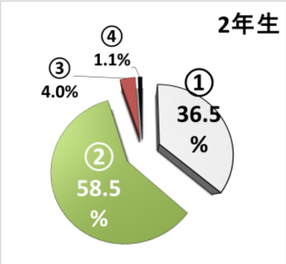


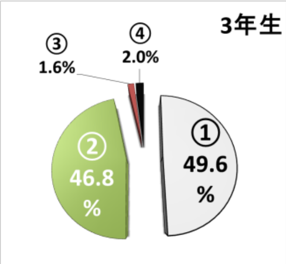


①	大いに役立つ
②	ある程度役立つ
③	あまり役立たない
④	全く役立たない

ウ．１、２年生は昨年度とほぼ同様の結果でした。３年生は、「大いに役立つ」が 8.6 ポイントと大きく増加しました。



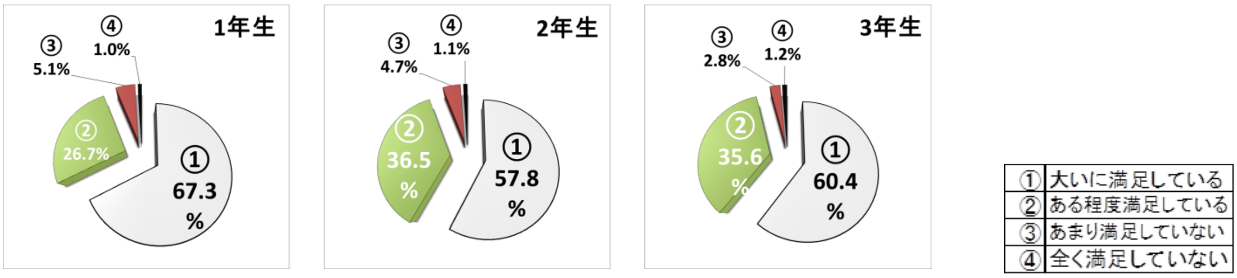




①	大いに役立つ
②	ある程度役立つ
③	あまり役立たない
④	全く役立たない

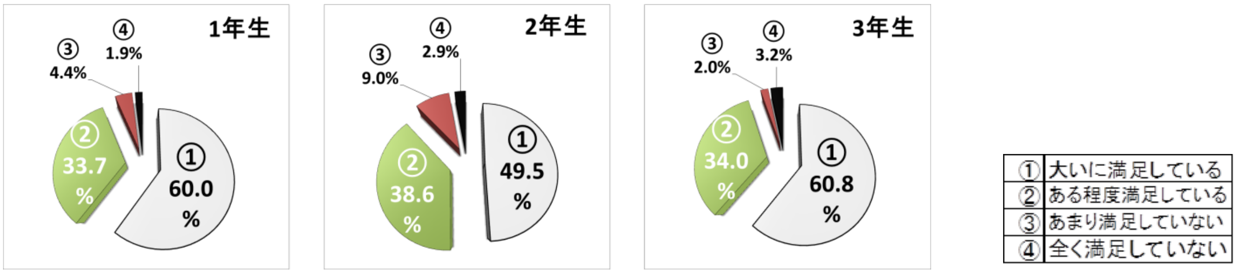
エ．学校行事の満足度

「大いに満足」は、昨年度より１年生が 5.3 ポイント、３年生が 2.6 ポイント増加しました。否定的回答は、１、３年生は若干減少し、２年生は若干増加しました。



オ．部活動の満足度

２年生の満足度が若干下がりました。否定的回答が１割を越えました。１、３年生は、昨年度とほぼ同様の結果でした。



４　学校運営連絡協議会の成果と課題

（１）成果

調査結果を全教職員で共有し、課題の具体的な改善に向けて取り組んで参ります。また、自由記述に見られる不満や要望、提案についても、優先順位を付けつつも、対応策を平成３１年度の学校経営計画に明記し、真摯に取り組んで参ります。

（２）学校運営連絡協議会を実施して明らかになった課題

ア．今後は、シラバスの内容を改善して各教科の学習到達目標を明確にしていく必要がある。

イ．生徒の心身の悩みの解決に資するよう、教育相談等を一層充実する。

５　学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

（１）５階普通教室、ホール、音楽教室、CALL 教室等の個別冷房装置の設置は完了しました。グラウンドの人工芝生化と外構整備・小会議室の設置（被服室の一部）及び職員室の整備・トイレ洋式化の推進、悪臭対策、照明 LED 化と自動化等の教育環境の整備を一層推進する。

（２）大学入試改革を見据えた自校作成問題の継続、校内学力テスト、定期考査の改善及び目標値を設定し、進学実績の一層の向上を目指す。

（３）司書と連携して、「青山高校の 100 冊」を活用し、不読率を 8%未満に低減する。

（４）スクールカウンセラーや特別支援学校の特別支援教育コーディネーターと連携し、いじめ対策委員会や特別支援委員会を定期的に開催するとともに、企画調整会議や学年会等において生徒情報を詳細に共有するなどして、いじめの未然防止や生徒の心身の健康の増進を図る。

６　「学校がよくなった」と考える協議委員の割合　７名回答

そう思う	多少 そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう 思わない	分からない	無回答
5	2	0	0	0	0	0

【自由記述】

○特別予算の獲得による設備の改修、教員の検証可能な情報に基づく体系的な授業への取り組み、職員の規程に則った適切な服務などにより、青山高校は教育活動の内容と、その結果である進路実績の両面でよりよく発展している。今後、青山高校をよりよくするためには、以下の事項が必要と考えられる。

(1) 日々在校生に接する教職員がより適切に能力を発揮できるよう、一人ひとりの健康状態により一層配慮がなされること。

(2) 解決すべき課題の優先度を明確にするとともに、教職員が忌憚なく意見を交換し、一旦方針が決定されたら一致して課題に取り組むこと。

(3) 適時、適切な情報公開がより一層促進されること。

・教員間の意思疎通が大切です。

・港区立小・中学校、都立特別支援学校との連携・協力を進められ、地域との強い結び付きを実感しております。

・校長先生の学校に対する考えを皆さんが理解し同じ方向を向いて進む事が大事だと思います。

・在校生がより一層充実した学校生活を送れる体制の強化と青山高校の魅力の積極的な対外発信が重要だと思います。

・生徒たちへのきめ細やかな指導や教育環境の整備など行き届いていると感じています。

・学校ＨＰ上での進路研修会の参加募集等、一層のＩＴ化の推進を要望します。

○今後も子どもたちの可能性を広げる教育の推進をお願いします。

○勉強し易い環境作りが進んでいると思います。

○学校、生徒を取り巻く環境が目まぐるしく変わる中、青山高校は一歩先を見越して生徒たちの環境を、整えようとしてくれていると感じています今までなかった職業がどんどん出てくる時代、勤勉であるだけでなく、想像力、創造力、時代の潮目を見る目を持てる生徒たちが育つよう、同窓生や社会のリーダーの方々との交流など、たくさんの経験をさせて下されば、と思います

○将来を見据えた進路実現のための環境を整えることが大事かと思います。様々なタイプの方の講演を聞いたり研修プログラムを受けたり、就業の選択肢を具体的に考えてもらうことで、受験への動機づけが明確になるのではないでしょうか。１年生はまだ体力が足りず、外苑祭が終わると緊張の糸が切れて体調を崩す生徒が例年多いようなので、２学期のカリキュラムを少し緩めて上述の時間などを当てれば、心身に余裕ができて快復も早まり、ひいては学業の向上につながるかと思います。（充分に実施していることでしたら、認識不足で申し訳ありません。）また、配布書類がHP上で確認できるようになると情報の漏れがなくなり助かります。

7　職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】職員会議０回、企画調整会議０回

【成果】参加実績がないため、特になし